

令和3年度 第2回 射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会 (議事録)

開催日 令和3年11月22日(月) 午後2時10分～2時35分

開催場所 射水市役所 4階 401会議室

【議題】

(1) 認知機能検診について

資料1 (事務局説明)

- 矢野委員 ・認知機能検診は受診後のフォローアップが重要である。二の足を踏んでなかなか受診につながらない方にとって、認知機能検診が受診のきっかけとなっているのではないか。
- 櫻田委員 ・認知機能検診は、希望すれば受診できるのか。
- 事務局 ・認知機能検診は射水市に住所を有する65歳以上の方が対象で、すでに認知症の診断や治療を受けている方、介護認定を受けている方を除く、もの忘れが不安な方は受診できる。
- 島多会長 ・今後の事後フォローはどのような計画になっているか。
- 事務局 ・昨年度同様、地域包括支援センターより、「認知症の疑いのある方」「MCI検査を実施した方」について全員事後フォローを実施する予定。
- 島多会長 ・対象者は増えているか。
- 事務局 ・コロナ禍で受診数が減っているため、事後フォローの対象者は増えていない。今後も地域包括支援センターと協議しながら実施していく。

(2) 認知症の人にやさしいお店登録制度について

資料2 (事務局説明)

- 島多会長 ・何人いれば事業所として登録できるといった要件はあるのか。
- 事務局 ・講座はおおむね10人以上から実施している。事業所としては全員受講する必要はなく、できるだけ多くの方に受講いただき、受講していない方には伝達講習をしていただいている。異動等で事業所に受講者がいなくなった場合は、新たな方に受講していただく様依頼している。
- 矢野委員 ・多くの方がアルツハイマー型認知症だが、少数だが前頭側頭型認知症の方がおられ、反社会的な行動をしてしまう事があり、万引き等の犯罪になってしまう。また、同じものを何度も購入したり、少額の買い物を1万円札で支払いする等、「もしかしたら認知症かもしれない」と地域のスーパー等の事業所で配慮していただけると助かる。
- 島多会長 ・ちょっとしたきっかけで、認知症に気づく知識を持つ事が大切。地域で見守る意識の醸成、姿勢が重要である。

(3) 認知症の人と家族が集う場「なごもっと」について

資料3 (事務局説明)

- 島多会長 ・今後も月1回開催していく中で、気軽に相談できる関係づくりを促進していただきたい。新型コロナウイルス感染症の拡大(第6波)が懸念される

が、その場合はどの様にやっていくのか。今後の方向性について説明いただきたい。

事務局 ・新型コロナウイルス感染症が拡大している時期は、参加がなく、同時開催している相談会の予約もない。県独自の警戒レベルのステージを確認しながら、必要に応じて開催を中止し、周知をしていく。

(4) ささえ隊メイトの活動について

資料4 (事務局説明)

島多会長 ・3本のVR動画を体験する研修会はすごい事だと思うが、参加者の講評はどうだったか。

事務局 ・「対応方法について分かっていたつもりだったが、分かっていなかった。」との声が多く聞かれた。視界に入って声をかける事や、見えない物が見える方にどの様に声をかけたらよいか、リアルに体験する事ができた。体験に勝るものはないとの意見があり好評であった。

阿部委員 ・「地域での声かけ、相談先の紹介」については、具体的にどの様にされているか。

事務局 ・近所で気になる方に対して挨拶から始め、気になる事や困り事がないか十分に話を聞き、地域包括支援センターを紹介したり、かかりつけ医に相談する様お話ししたりといった、「ご近所づきあい」の中から声かけをいただいている。

令和3年度 第2回射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会 次第

日時 令和3年11月22日(月)

午後2時30分～3時

会場 射水市役所 4階 401会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 認知機能検診について (資料1)

(2) 認知症の人にやさしいお店登録制度について (資料2)

(3) 認知症の人と家族が集う場「なごもっと」について (資料3)

(4) ささえ隊メイトの活動について (資料4)

3 閉 会

令和3年度 認知機能検診実績

1 認知機能検診受診者数

	受診者数	認知機能テストのみ	認知機能テスト MCIスクリーニング検査
4月	2	1	1
5月	7	3	4
6月	7	3	4
7月	6	2	4
8月	8	5	3
9月	10	6	4
計	40	20	20

2 受診結果

認知機能テストのみ (20名受診)	MCIの疑いなし	認知症疑い	
		経過観察	検査医療機関で 精検・治療
	15	1	4

認知機能テスト MCIスクリーニング検査 (20名受診)	健常 (A)	MCIリスク低 (B)	MCIリスク中 (C)	MCIリスク高 (D)
	15	2	1	2

3 地域包括支援センターによる事後フォロー

対 象 認知症疑い及びMCIスクリーニング検査受診者

方 法 訪問、電話

内 容 受診状況の確認、生活上の困りごとがないかの聞き取り、必要な支援の検討

4 普及啓発

- (1) 射水市ホームページ、広報いみず(5月号特集ページ)で周知
- (2) ケーブルテレビ 認知症オレンジちゃんねる(隔月放送)で周知
- (3) 射水市社会福祉協議会 福祉いみず(No. 63号)で周知
- (4) 脳いきいき健康講座、認知症サポーター養成講座等の地域での講座で周知
- (5) 運転免許更新(高齢者講習)時に射水警察署にて検診案内チラシ配布
- (6) 一人暮らし高齢者、高齢者世帯等への実態把握訪問で必要な人へ検診の受診勧奨
- (7) もの忘れ・認知症相談会で必要な人へ検診の受診勧奨

令和3年度 認知症の人にやさしいお店登録制度実施状況

1 認知症の人にやさしいお店とは

認知症サポーター養成講座を受講いただき、認知症の人にやさしいまちづくりに賛同していただいた事業所のことです。特別な対応をお願いするわけではなく、困っている方がおられたら、やさしい対応をしていただくなどの協力をお願いしています。R3年9月末現在で、84事業所が登録されました。

2 R3年度事業所向けの認知症サポーター養成講座での登録状況

R3.6.1 事業所向け認知症サポーター養成講座(10事業所)

R3.6.8 射水市理容組合小杉支部(13事業所)

R3.6.21 新湊商店連合会(8事業所)

3 広報いみず、射水市ホームページにて紹介

「認知症の人にやさしいお店」を紹介します！

射水市では、令和3年度から「認知症の人にやさしいお店」の登録事業を始めました。
令和3年9月30日現在で、84か所の事業所に登録していただきました。
今後も引き続き登録事業所を募集します。

認知症の人にやさしいお店とは

認知症サポーター養成講座を受講し、認知症の人にやさしいまちづくりに賛同していただいた事業所のことです。認知症に対して正しく理解し、できる範囲でやさしい対応をしてくださる地域の応援者です。



問合せ先

地域福祉課
☎51-6625 FAX 51-6657

【登録事業所一覧】

射水新湊郵便局	いみず野農協大島支店	海王交通株式会社	長谷川理容院
海老江郵便局	いみず野農協小杉支店	カットハウス・トミタ	はやし理容院
大島郵便局	いみず野農協新湊支店	加藤彫刻・絹織スーツクリニック	平野薬店
金山郵便局	いみず野農協新湊南支店	行政書士本田事務所	ファッションスペースファーファラ
柳田郵便局	いみず野農協太龍山支店	グリーンハット	NPO法人 ふらっと
黒河郵便局	いみず野農協大門支店	ケンコーマルシェ	ヘアモードSKY
小杉三ヶ郵便局	いみず野農協東部支店	小杉タクシー	北陸銀行太龍山支店
小杉郵便局	いみず野農協南郷支店	しみず薬局	まつおかヘアサロン
下行郵便局	いみず野農協相向支店	食事処サンキュー	備丸昌昆布加工所
新湊庄西町郵便局	いみず野農協本店	真生食富山病院	三上理容院
新湊立町郵便局	いみず野農協三島野支店	新湊信用金庫	三井理容院
新湊古新町郵便局	御青井呉服店	第一生命保険小杉営業オフィス	NPO法人 むげん
太龍山郵便局	油谷燃料店	(公財)太龍山ランド	椿瀬酒店
大門郵便局	アルビスバスコ店	高木商店	山口理容院
塚原郵便局	アルビスいみずの小杉店	竹林理容院	備馬場保険事務所
作道郵便局	アルビス歌の森店	合同会社NCS (DS: Re-have)	夢創作
二口郵便局	アルビス大島店	利波電機商会	理容川南
梶岡郵便局	石松薬局	御嶽山カーグリーンサービス	理容たかぎ
水戸田郵便局	いみずの薬局	朝トラベル新湊	理容タカクワ
南太龍山郵便局	魚源	中川大福堂	理容はしもと
いみず野農協片口支店	エスキナーン	BARBARヨツジ	理容・花菱



このステッカーが
目印だよ

射水市認知症ささえ隊マスコット
「オレンジちゃん」

令和3年度 認知症の人と家族が集う場「なごもっと」実績

1 事業の目的

認知症になっても安心して暮らし続けられるよう、認知症の人や家族が気軽に情報交換をしたり、リフレッシュできる場を開催する。地域包括支援センターの認知症地域支援推進員やささえ隊メイトと一緒に活動することで、地域とのつながりを持ち、気軽に相談できる関係づくりを行う。

2 実施状況

6月3日 関係者打合せ会開催

認知症地域支援推進員、ささえ隊メイト、射水市民病院認知症看護認定看護師、高岡市民病院認知症疾患医療センター社会福祉士、地域福祉課 18名参加

7月1日関係者15名参加

8月5日住民4名(大人1名、小人3名)、訪問看護1名、関係者 11名参加

9月2日 新型コロナウイルス感染拡大により中止

10月28日 認知症本人4名、家族 3名、関係者14名参加

3 普及啓発

- (1) 射水市ホームページ、射水市公式ラインで周知
- (2) 地域包括支援センター包括会議開催時に、ケアマネジャー等介護保険事業所に周知
- (3) 認知症の人と家族の会、高岡市民病院認知症疾患医療センターヘチラシの配布を依頼

4 活動の様子



令和3年度 ささえ隊メイトの活動について

1 ささえ隊メイトとは

認知症サポーター養成講座を受講後、さらに認知症サポーターステップアップ講座を終了され、認知症の方とその家族に寄り添い、地域での認知症に関する活動に取り組んでおられる方です。平成29年度から「ステップアップ講座」を開催し、R3年4月現在115名の方が地域で活躍されています。

2 地域における活動の状況

- ・地域包括支援センター圏域でのささえ隊メイト交流会
- ・地域での100歳体操やサロンでのミニ講座の開催
- ・認知症の人と家族が集う場「なごもっと」への参加
- ・11月19日開催のステップアップ講座での活動紹介
- ・地域での声かけ・相談先の紹介等

【ミニ講座開催の様子】



3 研修会の開催

【日時】7月16日 ①10:30～12:00 38名参加 ② 14:00～15:30 43名参加

【場所】救急薬品市民交流プラザ 1階 ふれあいホール

【内容】バーチャルリアリティー(VR)認知症体験会を含む講義

